

2015 年度日本気象学会関西支部年会プログラム

日時:2015 年 6 月 27 日(土)14:00~15:55

場所:エル・おおさか(6 階 606 号室)

<前半>14:00~14:40(発表時間 20 分)

座長:山下 寛(大阪管区气象台)

1. 降水エコーの動きに着目して ~2015 年 5 月 12 日の事例~
館谷 義人・*牧田 広道(松山地方气象台)
2. ALERA2-WRF アンサンブルダウンスケールによる台風発生までの初期擾乱の発達予測と初期値の関係性
—PALAU2013 で観測された台風 4 号の事例—
*吉岡 大秋・筆保 弘徳・舛田 あゆみ(横浜国立大学)・榎本 剛(京都大学防災研究所)・
勝俣 昌己・山崎 哲・横井 寛・城岡 竜一(海洋研究開発機構)・辻野 智紀(名古屋大学)

<休憩>14:40~14:55

<後半>14:55~15:55(発表時間 20 分)

座長:石岡 圭一(京都大学)

3. 高精度海面水温データセットを用いて算出される日本沿岸風況の精度検証
*岡山 芙有子・大澤 輝夫・香西 克俊(神戸大学大学院海事科学研究科)・
嶋田 進(産業技術総合研究所再生可能エネルギー研究センター)
4. GSMaP マイクロ波放射計アルゴリズムに対する地形性降雨推定手法の導入と推定降水量改善に向けた開発
*山本 宗尚・重 尚一(京都大学大学院理学研究科)
5. 化学気候モデルより得られたフリーラン実験のバイアスについて
*佐々木 拓也(京都大学大学院理学研究科)・塩谷 雅人(京都大学生存圏研究所)・
出牛 真(気象研究所)・秋吉 英治(国立環境研究所)

(*は発表者)
